



神奈川県

KANAGAWA

KANAGAWA
NADESHIKO
BRAND

神奈川なでしこ ブランド

2015

咲く、ひろがる、女性のチカラ。



「女性×活躍」=神奈川なでしこブランド

*はじめに

急速な少子高齢化が進む中、地域経済の活性化の担い手として、女性が持つ潜在力が注目されています。一方、本県における女性管理職の割合は伸び悩み、育児をしている女性の有業率も低い状態が続いています。

女性が能力を発揮していきいきと働くことが、企業の業績向上や地域経済の活性化につながれば、魅力と活力にあふれる地域社会が実現できます。

神奈川県では、このような女性が活躍できる社会の実現に向けて、「神奈川なでしこブランド」事業を実施しています。この冊子では、平成26年度の認定商品「神奈川なでしこブランド2015」と共に、開発に携わった女性の声を紹介しています。商品ができるまでの女性が活躍するストーリーを感じていただけたらと思います。



*神奈川なでしこブランドって？

県内の企業や団体から、女性が開発に貢献した商品を募集し、審査をしたうえで優れたものを「神奈川なでしこブランド」として認定しています。つまり、「神奈川なでしこブランド認定商品＝女性が開発に貢献した商品」となります。

認定した商品を県がPRすることにより、企業に女性の活躍の効果について理解していただき、経営戦略として自主的に女性の登用を推進していただくことと同時に、女性の活躍促進に向けての社会機運の醸成が図られることを期待しています。

企業・団体にとって、商品の販売促進はもちろん、企業・団体のイメージアップにもつながることとなります。



*神奈川なでしこブランド認定商品はどんなものがあるの？

平成25年度は44の商品(モノやサービス)を認定し、平成26年度には16の商品を認定しました。食品、生活・文化用品からサービスまで様々な商品があります。認定商品は「使う人のために」という想いをかたちにした質の高いものが多く、年齢や性別によらず多くの人たちの生活を豊かにする可能性をもっています。

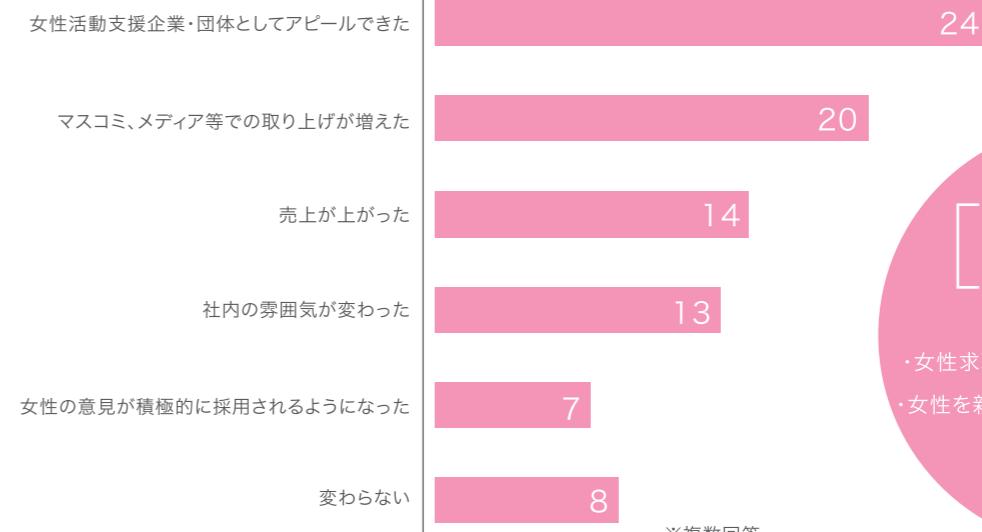
このような認定商品の開発には、企業の中で働く女性、起業した女性、家業を継承した女性など、様々な現場で活躍する女性達が携わっています。

県では、自分の思いを商品に託していきたいという女性を「神奈川なでしこブランド」を通じて応援していきます。



神奈川なでしこブランドに認定されて…

認定効果



24

20

14

13

7

8

- [認定効果に関する
その他の声]
- ・女性の登用が進んだ
 - ・女性求職者からの問い合わせが増えた
 - ・女性を新たに採用、女性の採用が増えた
 - ・取引先が増えた

販売効果

- 神奈川県内での販売が3.8倍になりました。取扱店数も認定を機に顕著に増加しています。(「オーラケア」大草薬品株式会社)
- 認定前より、売上が10%アップ! (『横浜マルチウエイスカーフ』株式会社ロウロウジャパン、「厚木七沢産かぼすを使った商品」お菓子工房サラ)
- 4月、5月に関しては、売上が認定前より約30%アップ。通販会社2社から問い合わせがあり、百貨店とも商談中。(「さくらん布ぞうり」さくらん)
- 営業活動において、相手先から興味を持ってもらえて、有効だと思います。(「簡易型ポケットチーフ・kon-B(コンビ)」鎌倉ダディ)
- 来街者が増えている。(『本鵠沼はす池通り物語』プロジェクトで女性店主がれんこんを使って開発した商品「本鵠沼商店街協同組合」)
- 取引先が増え、OEM(original equipment manufacturing)のお話をいただきました。(「Wおむつポーチ」グランドルー)

メディアでの取上げ

- マスコミ、メディア等での取上げが増えた。(「専任の女性産後ヘルパーによるラクラク自宅産後ケア訪問サービス」産後ヘルパー株式会社、「しらすのディップシリーズ」かお 鎌倉極楽寺、「惣菜そばろ」株式会社さくら工房、「羊羹和み」有限会社福田饅頭本舗)
- タウン紙や新聞等に取り上げられたことが、お客様に伝わりました。(「厚木七沢産かぼすを使った商品」お菓子工房サラ)

社内効果

- 自社製品が広くPRされることで、社員の自社商品や会社に対する自信がよりアップしました。(「オーラケア」大草薬品株式会社)
- 男性主体の仕事に女性も積極的に関わるようになりました。(「ヨコスカMシュウマイ」ヨコスカマルシェ・Koshikiya株式会社)
- 新商品の開発に積極的になりました。(「世界にひとつのテディベア」株式会社にしきや)

01 厚木七沢産かぼすを使った商品(おおやまあんマド、かぼすゼリー)
お菓子工房サラ

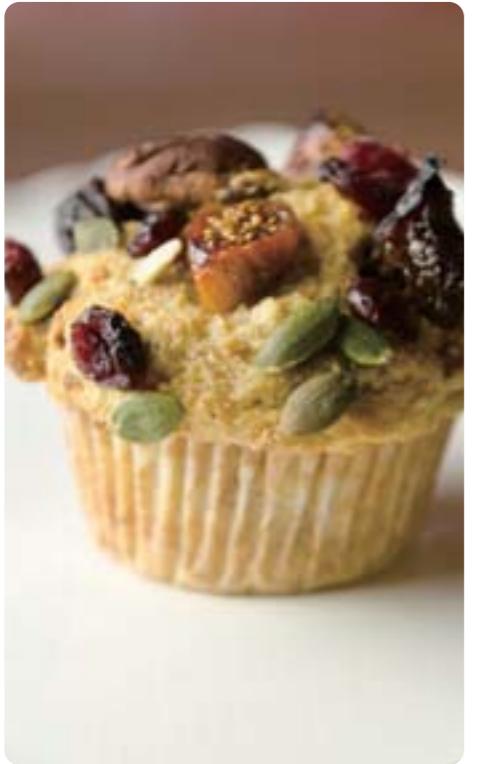


女性のアイデアを凝縮した地元土産を開発

「厚木には地元名産のお土産がないね」と、ある日のランチタイムに交わした何気ない会話がきっかけに。地元の遊休地でかぼす作りを始めたことを聞いていたため、女性社員が多いお店の私たちならではの意見を形にした、かぼすを使った二つの商品を開発しました。大切なのは、幅広い年齢層に楽しんでいただける和洋菓子であり、お土産として可愛らしく食べやすく、厚木にまた訪れたいと思っていただけるような商品であること。何度も試作を重ねました。女性の心をくすぐる商品づくりを続けるためにも、私たち自身の成長も目指したいと思います。



おからパーフェクトマフィン
株式会社エスプランニングス 02



自身の辛い経験を基に誕生した
心を癒すスイーツ

でき立ての生のおからがたっぷり入ったマフィンは食物繊維が豊富で、バターも乳製品も使わずに作るため、とっても“おなかにいい”スイーツ。私自身がおなかの病気を患ったとき、手術後に大好きなケーキを食べるのを断念した辛い経験があり、「病気のときこそ心を癒すスイーツが必要だ」と痛感し、安定した品質の商品になるよう研究に研究を重ねて作り上げました。おなかの健康をサポートする食品は世界中で求められていると思いますので、海外進出を目指してこの商品をベースにした消費期限の長い商品の開発に向けて、現在も前進し続けています。



代表取締役
重野佐和子さん

03 口腔ケアタブレット オーラケア®
大草薬品株式会社



開発課課長
阿部和美さん

女性社員のアドバイスを取り入れて
幅広く活用できる商品へと進化

開発の背景には、口臭に対する女性の悩みや健康寿命の増進のために口腔ケアが注目されていることが。女性社員のアドバイスから幼児や要介護者にとって安全で刺激の少ない優しい味になるよう改良を重ね、また震災時など水が使えない状況でも口腔ケアができるといった当初の企画よりも幅広い活用が期待できる商品に進化しました。社内モニター調査を実施して効果を目にするデータで示すことで、商品に説得力を持たせる工夫もしています。今後は本当に必要とする人へも確実に届けられるよう介護や防災関連などへ販路を拡げたいです。



しらすのディップシリーズ
かお 鎌倉極楽寺 04



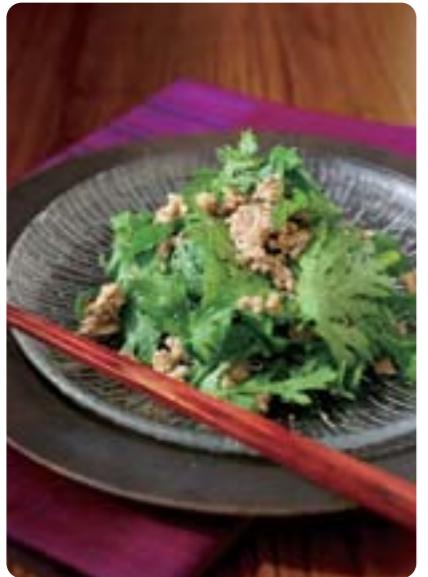
オーナーシェフ
斎藤かおりさん



しらすの新しい食べ方の提案。レストランでも大きな反響

鎌倉ではしらす丼が広く知られていますが、鎌倉観光に来られたお客様にしらすをさまざまな形で楽しんでいきたいという想いを込めて、「しらすの和風バーニャカウダ」「しらすと酒粕のディップ」など5種類のディップを開発しました。しらすの食感や風味を出すことに苦戦しましたが、しらす干しを適度な硬さに炒ることで実現。レストランのコース料理で提供したところ、お客様から「購入したい」と多くの反響をいただきました。現在は、量産化に向けた開発や販路拡大の活動も活発に。県外のショップでも鎌倉名物として取り扱ってもらえる商品を目指していきます。

05 惣菜そぼろ
株式会社さくら工房



代表取締役
櫻井友子さん



販売担当
丸山鈴子さん

忙しい女性の強い味方。
ワーキングママの経験をヒントに開発

コンセプトの「こんなのがあったらいいのにな」から生まれた、ワーキングママや主婦など忙しい女性のための商品。家族の食事やお弁当作りの手間を省きながらも、おいしく手抜き感のない料理に仕上げます。私自身、子育て中のワーキングママの経験を活かして、素材選びや味付け、パッケージの選択、価格設定などに携わりました。便利で良いものを少しでも安く提供したい一方、食材に妥協できないというジレンマも。材料や作業工程の見直しを繰り返しながら乗り越えました。今後は、外国の方に日本人の食文化を伝えていきたいため海外進出も計画中です。

07 羊羹 和み(なごみ)
有限会社福田饅頭本舗



取締役
小菅澄子さん



和菓子になじみのない層にアプローチする新商品

創業から50余年、女性職人が中心にさまざまな和菓子の製造と販売を行ってきました。地元の酒屋さんから「お酒を使った和菓子」の相談をいただいたことをきっかけに、これまで和菓子になじみの少なかったお客様にも広く楽しんでいただきたいと考え、「お酒に合う」お菓子を開発したいと考えました。約2年の開発期間を経て完成したのが、大和市特産品の芋焼酎「和み」と、地元産のドライいちごを練りこんだ羊羹。風味や保存期間の調整には大変苦労しました。「甘すぎず、お酒に合う、今までにない味ですね!」とのお客様からのお声に励みを感じています。

「本鵠沼はす池通り物語」プロジェクトで
女性店主がれんこんを使って開発した商品

06

本鵠沼商店街協同組合



スワン洋菓子店
中西貴子さん

ベーカリー アンジュ
岩瀬祐子さん

葉膳惣菜・お弁当 和(nico)
後藤由美子さん

商店街が一体となって「れんこん」で街おこし

全国的な課題となっている商店街の衰退は、本鵠沼も例外ではありませんでした。地域との交流を育み、商店街の活性化を目指して立ち上げたプロジェクトが「本鵠沼はす池通り物語」。はす池の「はす」から、「れんこん」を使った商品を各店舗の女性が中心となって開発し、毎週土曜を「れんこんの日」と定めて販売しています。お客様に試作品の試食に協力いただいた商品、商店街の八百屋さんで購入したれんこんを使用した商品などもあり、地域一体となって取り組んでいます。たくさんの人で賑わう楽しい商店街がみんなの夢。各店とも今も商品の改良を重ねています。



女性従業員が思いを一つにした商品開発

オーナー、店長を含む女性のみの従業員で、女性目線でのきめ細やかな接客と営業を大切にしている私たち。横須賀土産の開発は、女性従業員みんなかねてからの願いでした。こだわったのは、神奈川県産銘柄豚「恵水ポーク」と国産玉ねぎを主要原料に、無添加素材で作る、安全・安心の商品。肉汁たっぷりの大ぶりな手作りシュウマイが完成しました。発案から製品化まで苦労もありましたが、自慢の商品ができましたので大満足です。手作りのよさを生かしながら、より沢山の方々にご利用いただけるよう頑張ってまいります。



代表取締役
古敷谷美津江さん



取締役
古敷谷由香さん

ヨコスカ Mシュウマイ
ヨコスカマルシェ・Koshikiya株式会社

08

09 簡易型ポケットチーフ・kon--B
鎌倉ダディ



代表
金井祐子さん



主婦の視点で
男性を“カッコ良く見せる”商品開発に成功

主婦ふたりの「仕事へ行く夫をもっとカッコ良くしたい」との発想から誕生したポケットチーフ。黒、グレー、紺の地味な定番色のスーツでも、サッと胸ポケットに入れるだけで見た目が一気に華やかになります。主婦の視点から、高価格帯になるのは避けたかったのですが、良いものを提供したいとの思いは一途に持ち続けました。素材選びに労を惜しまず、皮工場や生地屋などにも何度も足を運びました。「やればできる!」「継続は力なり!」が私たちのモットー。より多くの人に知っていただける商品に成長できるように、努力を続けたいと思っています。

11 世界にひとつのテディベア
株式会社にしきや



取締役
原佳織さん



代表取締役
原しのぶさん

新たな試みに躊躇するも、女性従業員の賛同で実現

「もったいない」「捨てられない」思い入れのある衣類等を、新しいかたちに変えることはできないだろうか、そんな声から始まりました。わたしたちの持つ技術と経験を生かせる商品を模索した結果、依頼者の思い出のつまつた衣類で作る、世界にたったひとつのテディベアが誕生しました。全国の観光地や神社仏閣のお土産物のデザインと製造をメインに行っているため、一点ものの商品を取り扱うことに一時は躊躇ましたが、周囲の賛同と協力が後押しに。老人福祉施設でのボランティア活動や教室の開催など交流の場を設けて、たくさんの人々に手作りの楽しさや温かさを伝えていきたいです。

さくらん布ぞうり
さくらん

10



代表
斎藤静子さん



大庭直美さん

日本の伝統的なわらじに
ファッショニ性を取り入れて

私自身がひどい外反母趾に悩んでいたときに出合った布ぞうりが商品開発のきっかけに。その頃は、エコぞうりや着物を裂いて作られているものが大半で、履き心地や見た目を改良する必要があると感じていました。重要なのは、生地選びと編み方などの作製方法。布ぞうりに適した生地選びには何度も失敗し、製作者の技術の向上にも多くの時間を費やしました。そして完成したのは、履き心地、ファッショニ性、機能性を重視した室内履きの布ぞうり。日本の伝統を活かした手作りの品を多くのお客様にお届けしたい、という気持ちを基に、神奈川から世界への発信を目指します。



代表
岸部知佐子さん

子育て経験から
さまざまなアイデアを形に

おむつ替えの大変さを身をもって経験した私は、毎日のお世話を「ラクに楽しく」できないかと考え、ママ友からの意見をふんだんに取り入れた企画を基に、商品にさまざまな工夫を凝らしました。パパも恥ずかしがらずに持てるチェック柄にすることでパパの子育て参加を促し、ママの時間を増やすことも狙いのひとつです。産院の名入れをしたオリジナルおむつポーチや、グランドルーの女性目線を活かした新たな商品開発の依頼もいただいている。パパとママが協力した「楽しい子育て」に共感いただけるパートナー企業をもっと増やしたいと考えています。

Wおむつポーチ
グランドルー

12



13 横浜マルチウエイスカーフ
株式会社ロウロウジャパン



デザイナー
早園マキさん



女性ならではの柔軟な発想で生まれた
オリジナルスカーフ

アパレルブランド「ROUROU」で、横濱らしい商品を作りたいと企画をスタート。私の両親が、昔生業としていた横濱スカーフがヒントに。ボレロ、ブラウス、ワンピースなど20通り以上に着回せるサイズ感、コストを抑えるためのプリント手法、そのデメリットを感じさせない2枚仕立のリバーシブル対応など、既存のスカーフの概念にとわられない柔軟なアイデアからオリジナルスカーフは誕生しました。社内や協力企業の女性スタッフからのたくさんの意見も形に。プリントだけでなく、ジャカートやレース地、デニム地などの素材も増やして、海外へも進出したいです。

15 専任の女性産後ヘルパーによるラクラク自宅産後ケア訪問サービス
産後ヘルパー株式会社



代表取締役
明素延さん



安心して赤ちゃんを産める社会の実現を夢に

私自身の日本での出産後の不安や産後トラブルを通じて、韓国で広く利用されている産後ケア訪問サービスの必要性を強く感じ、日本初の産後ケアを事業とする会社を立ち上げました。しかし、日本ではあまり知られていないため、ホームページのSEO対策に力を入れて認知拡大に努めました。多くの未来予想図を描いていますが、低所得者向けの産後ケアサービスの充実に向けた行政や産婦人科との連携の推進、女性が働きやすい環境や赤ちゃんを産みやすい社会の実現のために法人向けのサービス拡大もそのひとつ。日本全国からアジアへと事業を展開したいです。

サービス Service

ガールズシート
横浜マリノス株式会社

14

事業本部第2営業部
小林玲さん



他部署も強力にサポート。
お客様から大好評の商品に

年1回開催される、女性をターゲットにした「ガールズフェス」で、いつもとは異なる観戦スタイルを提供したいと発案。女性ファンの思い出に残るようにと、選手を間近に感じられる特典付きのプレミアムなサッカー観戦シートを商品化しました。女性スタッフによる定期的な意見交換を行い、適切なアドバイスを参考に。アイデアの具現化や観戦当日の運用には苦労しましたが、毎年お客様から好評いただける商品に成長しました。過去の他の事例も含めて、女性を中心とした企画が新たな視点を生み出し、女性の活躍の場が社内に定着してきたと感じています。



60代からは仕事でもボランティアでもない働き方!

ロクマル(60代)ガールズ応援・プロジェクトを提案・発信する「みんなのキッチン」

有限会社有アンド長

16



代表取締役
有澤つあ子さん

ロクマルの力に輝きをもたらす
新たな場の創出を目指す

ロクマル=60代。シニアにとって、「必要とされる」「世の中の役に立つ」ことは、最高の喜びと生きがいとなり、心身の健康づくりにも大きく寄与します。ロクマルのこれから働き方を考え、自分がもつ能力を発揮できる場をつくることが目的。単なるシニアの集まりではなく、「学びと地域のニーズ」を結びつける場としてロクマルサミットを各地域で開催しています。仕事をしたい、あるいは仕事を持つロクマルの交流は、これまでにない取り組みだと思います。ロクマル市場に向けた提案を生み出す組織へと発展したいと考えています。



神奈川なでしこブランド2015 認定商品お問い合わせ先一覧

	No	商品名	事業所・団体名	TEL	URL
食 料 品 ・ 飲 料	1	厚木七沢産 かぼすを使った商品	お菓子工房サラ 【厚木市】	046-248-0747	http://www.cake-sala.jp/
	2	おからパーフェクトマフィン	株式会社エスプランニングス 【横浜市中区】	045-681-3634	http://cafe-rico.com/
	3	オーラケア®	大草薬品株式会社 【横須賀市】	046-834-1193	http://okusa.co.jp/
	4	しらすのディップシリーズ	かお 鎌倉極楽寺 【鎌倉市】	090-3907-7576	http://www.kao-kamakura-gokurakuji.com/
	5	惣菜そぼろ	株式会社さくら工房 【横浜市青葉区】	045-482-9848	http://www.sakura-factory.jp/
	6	「本鶴沼はす池通り物語」 プロジェクトで女性店主が れんこんを使って開発した 商品	本鶴沼商店街協同組合 【藤沢市】	0466-34-6004	http://www.honkugenumashoutengai.net/
	7	羊羹 和み(なごみ)	有限会社福田饅頭本舗 【大和市】	046-268-0312	http://wagashi-midoriya.com/
	8	ヨコスカMシュウマイ	ヨコスカマルシェ・ Koshikiya株式会社 【横須賀市】	046-853-4129	http://koshikiya.com/
生 活 ・ 文 化 用 品	9	簡易型ポケットチーフ・ kon-B(コンビ)	鎌倉ダディ 【鎌倉市】	090-3878-3758	http://kamakuradaddy.shop-pro.jp/
	10	さくらん布ぞうり	さくらん 【横浜市中区】	090-7729-6604	http://www.sakuranjapan.com/
	11	世界にひとつのテディベア	株式会社にしきや 【秦野市】	0463-82-2498	http://nishikiya2498.com/
	12	Wおむつポーチ	グランドルー 【川崎市多摩区】	044-953-7144	http://www.granderoue.jp/
	13	横浜マルチウエイスカーフ	株式会社ロウロウジャパン 【横浜市中区】	045-650-5466	http://www.rourou.com/
サ ー ビ ス	14	ガールズシート	横浜マリノス株式会社 【横浜市西区】	045-277-2301	http://www.f-marinos.com/
	15	専任の女性産後ヘルパーに によるラクラク自宅産後ケア 訪問サービス	産後ヘルパー株式会社 【横浜市中区】	045-323-9009	http://www.sango-helper.co.jp/
	16	60代からは仕事でもボラン ティアでもない働き方!ロク マル(60代)ガールズ応援・ プロジェクトを提案・発信する 「みんなのキッチン」	有限会社有アンド長 【横浜市都筑区】	045-944-1714	http://www.dassama.com/

↓WEBサイトはこちら↓

女性の活躍を応援します!

